

大企業区分

奨励賞

## 株式会社ジャパンセミコンダクター

※事業者の情報は 2016 年 11 月時点

所在地	岩手県北上市北工業団地 6-6
業種	製造業
社員数	(単体)2,200 名
ウェブサイト	<a href="http://www.jsemicon.co.jp/">http://www.jsemicon.co.jp/</a>

### 環境 CSR、コミュニケーション、生物多様性による環境人材育成

#### 目的

株式会社ジャパンセミコンダクターは岩手、大分両事業所を有する 2016 年 4 月に発足した東芝グループ企業です。両拠点とも豊かな自然に恵まれた環境に位置していることが特徴で、地域に根ざす企業として遵法・社会貢献などの CSR 活動、地域住民や行政との協調・連帯を図るためのコミュニケーション、生物多様性保全活動などを通じて従業員の意識を向上させ、社会への貢献や信頼関係を構築していくことを目的としています。

#### 概要

環境 CSR は、環境関連法令・条例に関する届出や報告書の遺漏・遅滞なき提出、法規制値の遵守、また社会貢献活動としては従業員と家族による市内の清掃活動、小学生と保護者を対象とした自然観察会の開催、小学校での環境出前授業や会社に招いての環境学習会の実施、植林による森づくり活動などを行っています。エコチャリティーバザーも行っており、売上を地域の自治会に寄付しています。

コミュニケーションでは地元市民などを招いての環境報告会、会社見学の受入れ、地域の自治会との意見交換会、行政主催のイベントへの参画を行っております。また、環境関連の各種表彰にも応募し、環境大臣表彰も受賞しております。

生物多様性保全活動も近年スタートさせ、構内に希少植物花壇を造成し、絶滅危惧種や近隣では珍しい植物の繁殖、また生態系ネットワークの構築として特定の蝶の呼び込みなどを狙っている他、数が減少したホタルの繁殖を行っています。

## 特徴・アピールポイント

### ● 環境 CSR

- ・清掃活動については従業員と家族が参加し、市街地や会社周辺を毎年行っており、2016年で24回となります。
- ・自然観察会は、プロのナチュラリストを講師に招き、楽しい説明やゲームで毎年好評を頂いております。
- ・環境出前授業や会社に招いての環境学習会(Eco 楽集会)は、楽しみながら環境を身近に感じてもらうことを目的とし、講師は社内の「エンジェル隊」という女性だけで組織されたチームが行っております。
- ・エコチャリティーバザーは従業員の家庭で不要になったものを持ち寄り、バザーの売上げを地元自治会に寄付し、地域の環境整備に役立てていただいております。

### 小学校での環境出前授業



### ● コミュニケーション

- ・地域住民、行政(県、市)、県内企業などをお招きして「地域とはじめる環境報告会」を開催し、当社の概要説明、環境報告書による活動内容の紹介、環境関連施設の見学、意見交換会を行っております。当社に安心感を持っていただき、信頼関係を継続していくことが目的です。

## 「環境 人づくり企業大賞 2016」受賞企業の取組事例

- ・地元自治会との意見交換会では製造現場やリサイクルセンターなどを紹介し、当社への理解を深めていただいております。
- ・行政のイベントにも参画し、市が主催する生物多様性シンポジウムでは当社の活動内容を発表しました。
- ・2015年6月に「環境対策に係る模範的取組表彰」として環境大臣賞を受賞した他、各種表彰を受けております。
- ・社内への情報発信、啓発活動として、かんきょう新聞を1989年11月、ホルトノキを2000年12月より定期発行中です。

### 地域とはじめる環境報告会(リサイクルセンターを見学)



#### ● 生物多様性保全活動

- ・絶滅危惧種や希少な植物を構内で育て、守っていく活動を全社活動として行っています。また、生態系ネットワークの構築として、国蝶オオムラサキを呼び込むため、幼虫の食樹であるエゾエノキを植えています。
- ・数が少なくなったホタルの繁殖を目的に、幼虫のえさになるカワニナを養殖し、川へ放しています。

#### 関連・補足情報

##### ● 株式会社ジャパンセミコンダクター「環境報告書 2016」

[http://www.jsemicon.co.jp/csr/env\\_report.htm](http://www.jsemicon.co.jp/csr/env_report.htm)

## 審査委員からの講評

環境を通じた人材育成を積極的に実施しており、3つの柱「環境・CSR」、「コミュニケーション」、「生物多様性保全活動」を掲げ、全社的な取り組みを実施している点は高く評価できる。特に社内に目を向けると、社長自らが取り組みに参加しており、経営層を含め全社的に取り組みを推進するという強い意志を感じさせる。

また、地域との関わりとして、環境イベントを数多く実施し、積極的に地域も巻き込んでいる。この取り組みにより地域との関わりを深めていこうとする姿勢がうかがえる。

教育的な部分では、ISO14001に基づき一般教育、特定従業員教育、監視員教育、内部監査員教育等のように社員の立場に応じた環境教育を実施している。教育内容も毎回見直し、環境分野の最新動向を反映していく等、改善に対する姿勢や努力を評価したい。

今後は、これまでの取り組みのさらなる充実を図りつつ、広く社員の主体性を引き出すような取り組みとなるよう工夫することで、さらなるレベルアップに期待したい。